

急性期から回復期までの リハビリテーション

リハビリテーション科
唐沢 豊

リハビリテーション医療について

リハビリテーション医療は全人間的復権を意味し、ギリシャ語の re=再び、habilis= ~ (社会) に適応させる、を語源としています。『rehabilitation』、この医療の考え方は医療全体の概念ともなっています。

リハビリテーション医療が日本に入り『理学療法士(以下PT)』・『作業療法士(以下OT)』が誕生して30年以上が立ちましたが、まだどんなことをしているのか知らない方もおられるのではないのでしょうか。

でも、全国にはPT・OTを誕生させる大学や専門学校は100校以上あり、毎年2千人以上のPT・OTが誕生しています。

また、介護保健制度も始まり既に皆



さんの身近にも、地域リハビリテーションの一角として、PT・OTが関わっているご家庭もあるのではないのでしょうか。

これからの高齢化社会においては、ますますリハビリテーション医療が必要とされます。また、今日の進歩する医療の中でリハビリテーション医療も変わりつつあります。

新病院へ！（平成15年4月から） これからのリハビリテーション 科！！

当院は急性期医療を軸とした一般病院の位置付けを打ち出し、それに伴い救急医療の充実を図っています。このような体制の中、またリハビリテーション医療を必要とする患者さんも大変多くなっています。

リハビリテーション医療は、今では早期リハビリテーションが当たり前となり治療効果もあがっています。その結果、患者さんの早期退院も可能になってきました。でも、手術後や脳疾患の患者さん、肺炎などで長期間寝たきりとなるお年寄りの患者さんなど多くのかたがたが長期間のリハビリテーション医療を必要としています。このような方に、できる限りまたもとの日常生活を取り戻し退院していただくことがリハビリテーション科の大きな役割です。

現在のリハビリテーション科ではこのような役割を十分に果たすことがシステムの困難です。新病院（期）ではこのシステムを大きく変えることで、より充実したリハビリテーション医療を行うことができるようになります。

リハビリテーション科での機能訓練や治療は、現在はリハビリテーション室で主に行われています。このため実際に訓練室ではできる動作が、病室ではできないという、『できる日常生活

動作』と『している日常生活動作』の差が全国の病院で問題になっています。

そこで新病院では『回復期リハビリテーション病棟』を開設する予定です。この病棟はリハビリテーション医師、PT・OT、看護師、看護助手、ケースワーカーなどの医療スタッフが病棟に配置され、病棟での訓練、治療も含めて『できる日常生活動作』の獲得を目標に徹底したリハビリテーション医療が行われるようにするものです。

新病院では、それぞれの診療科で急性期治療の時期を過ぎた患者さんや、長期間寝たきりで動けなくなった患者さんは、一般病棟から回復期リハビリテーション病棟へ移っていただきます。そこで家庭復帰へ向けて充実したリハビリテーション医療を受けていただくことが可能になります。

現在はベッドの数も少なく、早期の退院をお願いせざるを得ないこともあり、十分なリハビリテーション医療を受けることができない患者さんやその御家族の方には大変ご迷惑をおかけすることもあり誠に申し訳ありません。

私達はこれからの新しいシステム作りをしっかり行い、新病院では皆様にご満足いただけるリハビリテーション科となるようにスタッフ一同努力をしていきます。新病院 期開院にご期待下さい！